

令和2年11月 新宮町教育委員会定例会 会議録

1. 開催日時

令和2年11月20日（金） 9時20分から10時36分まで

2. 場所

新宮町役場 2階第2会議室

3. 出席者

宮川教育長、恵良委員、横山委員、本多委員、吉松委員

4. 欠席者

なし

5. 出席職員

森学校教育課長、西田社会教育課長、荒牧指導主事、豊釜指導主事、桐島社会教育課課長補佐、高木学校教育課主幹、三船学校教育課主幹

6. 欠席職員

なし

7. 日程

○ 日程第1 開会の宣告

（宮川教育長） ただいまから教育委員会定例会を開会いたします。

9時20分開始

○ 日程第2 会議録署名委員の指名について

（宮川教育長） 会議録署名委員は会議規則第17条の規定により、教育長及び会議で決めた委員の1名となっておりますので、今回は本多委員にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○ 日程第3 教育長の報告事項

（宮川教育長） 教育長会の報告

- ・ 「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」

（本多委員） 学校部活動の指導者はみんなボランティア。アメリカでは、指導者のポジションがあり、給料をもらい、その仕事に専念している。現状のまま、平日をボランティアで、土・日は、クラブチームで部活指導してもらおうと指導者の生活が逼迫してしまうので、職業としてコーチングができるような制度を作る必要がある。そうすれば、指導者としての研修を受講することができ、指導者として成長できる。

教職員の負担だけを減らそうとすると必ずどこかにしわ寄せがくる。システムの整備を国、県が行うとスムーズに改革が進むと感じる。

(西田社会教育課長) 考え方としてはわかるが、2年ぐらいでその体制を作るのは難しい。事故時の対応等整備しなければ、受け手もないと思う。P12に概算要求における積算が出ているが、恒久的に続くのか、数年後市町村の負担だけになり、経常経費だけが掛かっていくという事になりかねない。考えていかなければならないが、まだまだ課題が多い。

(宮川教育長) 方向性として、拠点校、モデル校を指定しても地域により実情が違い、参考になる部分もあるだろうが、そのまま持つてはいけないため、できる方向を探る必要がある。どのようなあり方があるか教育委員会で少しずつ審議できればと考えている。

(恵良委員) 中体連の競技種目が多すぎる。部活は陸上だけというように強引にいかなければ改革はできない。

(宮川教育長) 考え方として、少し絞ることにはなるかと思うが、多様であれば多様な子どもたちが参加できる。考え方だろうと思う。

(恵良委員) 「部活はここまでしかできない。」とする。陸上だけとか。

(本多委員) 他の競技をしたい子はクラブチームで頑張りなさいという事か。

(恵良委員) やりたいところで。部活とはこういうものだとして強く出す。年度当初、学校は顧問決めに苦慮している。

(宮川教育長) 部活は、学校教育の一環、生徒の自主的、自発的な参加によって行われる。取り組むからには上達したい、上達したら成果結果を出したいと思う勝利主義は、また別の視点から考えていく必要がある。

新宮町だけではなく部活動を見直す時期と思う。情報収集していただき意見を伺い、時期が来たら方向性を示したいが、まだまだその段階ではない。

(本多委員) 保護者が部活に対しても熱心なため、見直しをするときは、保護者からヒアリングを行い、何か決まるごとに開示していかなければ反発が多いと思う。

(宮川教育長) 色々な意見を吸い上げながら進めていかなければと思う。部活動に対する関心が高く期待も大きい。時間をかけ準備をしていく必要がある。

(吉松委員) 学校の働き方改革を踏まえた部活動の概要が示されているが、改革の方向性の部分で、「部活動の指導を希望する教師は引き続き休日に指導をおこなうことができる仕組みを構築していく」とあるが、働き方改革に相反するのではないか。

(宮川教育長) 現実問題、教員の力なしで地域の方の指導に頼るだけでは無理というのが根底にあり、教員に頼らざるを得ない。それを承知の上で教員の兼業申請することで、これを実現しているとの説明もあった。

(森学校教育課長) ここに示されているのは、教員が地域のクラブ活動の指導者として教師が加わる。そうすると業務外の仕事になるため、その時は、研修を行う事や営利目的の目的外就労の手続きを行うという事を想定している。

(宮川教育長) 矛盾といえば矛盾している。

(横山委員) 13～15歳の子どもたちが、部活動をどういう位置づけで行っているのか。勝利至上主義、そもそもそこが違うのではないか。極論部活のすべての大会は全部やめた方がいいと思う。社会体育等、別のところとする分はいいと思う。部活と社会体育は別物と考える。社会体育をすると当然お金がかかるため、色々な助成金を出して社会体育に子どもが行けるような環境を作ってやる。

(宮川教育長) ここに記載の考え方では、月～金までが部活動、土日は、社会体育の範囲でという形になっていくのかなと思う。どのようなスケジュールで進めていくかは、今後社会体育とも知恵を寄せ合いながら進めていきたい。

教育長会の報告へ戻り、

- ・ 令和2年度末人事異動説明会の日程等について
- ・ 事務局等職員等及び教職員の人事異動方針について
- ・ 県費負担教職員退職後に再任用を希望しない職員等の人材活用について
- ・ 令和2年度校長ヒアリング

(宮川教育長) 質問はありませんか。(特になし)

○ 日程第4 諸報告

1) 学校教育課の報告について

(森学校教育課長) (資料により学校教育課の報告)

① 報告事項

- ・ 経過報告
- ・ 今後の予定
- ・ 令和2年度冬季休業期間における児童生徒の指導について
- ・ 新宮町就学援助規則及び施行規則の改正について
- ・ 町立幼稚園の新入園児の申込状況について
- ・ 工事の状況について

② 連絡事項

- ・ 町立小・中学校卒業式・入学式について
- ・ 令和3年度の教育要望にかかる四者会議について

③ その他

- ・ 相島漁村留学について
- ・ パンフレット「オンラインの危険から子どもたちを守るために」

(宮川教育長) 質問はありませんか。(特になし)

2) 社会教育課の報告について

(西田社会教育課長) (資料により社会教育課の報告)

① 報告事項

- ・ 経過報告
- ・ 今後の予定

② その他

- ・ 令和3年成人式について
- ・ 人権フェスティバル
- ・ 町立図書館利用状況及び行事予定

(宮川教育長) 質問等はありませんか。(特になし)

○ 日程第5 その他

1) 町立幼稚園について

(森学校教育課長) 幼稚園新入園児募集状況をご覧ください。今後の町立幼稚園をどのように運営していくかを検討していただきたい。今年の募集状況で、新宮幼稚園と新宮東幼稚園の年少の申し込みがかなり少ない。立花幼稚園は年少から年長まで各1クラス。新宮幼稚園は、年少2クラス、年中、年長それぞれ2クラスの合計6クラス。新宮東幼稚園は、年少1クラス、年中、年長が各2クラス合計5クラス。新宮幼稚園と新宮東幼稚園の年少の申し込みを合わせて42名。学年の申し込みとしては、かなり落ち込んでいる。園長への聞き取りから、減少の要因は、新型コロナウイルスによる影響から共働きをするため、幼稚園の時間だけではパートは難しく、保育園希望のケースが増えていると聞いている。また、全体的な子どもの数が減少してきている。次回、今後の具体的な就学前子どもの推移を示すが、子どもの数は減る傾向である。

新宮幼稚園も新宮東幼稚園も年中以降は1クラスずつになるが、幼稚園の規模をどうするか。果たして、単独での運営がいいのかどうか。当然統廃合も視野に入れていかなければならない。逆に3園を残し、預かり保育を行うなども考えられるが、町の方針として、就労支援は保育園が担い、町立幼稚園は、校区に保育園がない立花幼稚園のみ預かり保育を実施する方針。新宮幼稚園、新宮東幼稚園で預かり保育をすることになると、町としての方針を見直す必要があり、教育総合会議などで町長に提案をする形になる。現在保育園の待機児童はいるが、今後子どもの数が減ることを想定すると、預かり保育を幼稚園で担うと保育園のキャパが余る可能性がある。

今後のスケジュールとしては、統廃合することになれば、来年の募集までには反映させなければならぬため、少なくとも今年度中に大きな方向性を決め、その後のスケジュールを4月以降進めていく形になる。まずは、町長を交えた教育総合会議を行う必要がある。その打ち合わせも次回教育委員会で示したい。次回から教育委員会の意見を示していただき、最終的には、教育委員会の意見としてまとめた。

(宮川教育長) 令和2年度の申し込みがそれほど減少しなかったため、令和3年度の実況を見るとということになった。博多東幼稚園が、令和4年度に新しく開園するのではないかとこの予測であったが、その計画は延びている。

(森学校教育課長) 具体的にまだ決まっていない。今の状況から、令和3、4年度に建設、令和5年度開設を目指したい意向。

(宮川教育長) 博多学園が開園すれば、校区である新宮東幼稚園は影響を受ける可能性がある。新宮町第6次総合計画、第2次子育て支援計画に就学前教育保育の充

実が示されている。町立幼稚園だけではなく、新宮町の幼児教育をどうするのか、これに沿って考えていかなければいけない。

幼・小・中を通し、子どもたちのどのような姿を目指していくのか。

第6次新宮町総合計画の町の将来像で、「人がいきいき未来をつむぐ挑戦するまちしんぐう」と示されている。そのなかに、「人を思いやる」というのがある。これは町がめざす姿であり、幼児期から小学校中学校と当たり前のことだがここは動かせない。

めざす姿として「心優しい子」「挑戦し続ける子」「進んであいさつができる子」を共通の項目と考える。立花幼稚園は、就労支援のため預かり保育を入れながら継続していく。新宮幼稚園、新宮東幼稚園をそれぞれで運営していくのか、それとも統合するのは町立幼稚園がどのような役割を果たしていくのかにかかわってくる。振り返ると町立幼稚園が中心になり、保幼小連携の要となって取組み、研究もしている。今後も町立幼稚園が、保幼小の要として存在意義を示すことが大事。質の高いものは有るので、そこは残していく必要がある。そういうことも踏まえながら12月に提案する。

2) 教育委員会定例会の日程について

(森学校教育課長) (日程確認)

- ・ 12月定例会

令和2年12月22日(火) 9時30分から

- ・ 1月定例会

令和3年1月26日(火) 9時30分から

○ 日程第6 閉会の宣告

(宮川教育長) 以上で11月の新宮町教育委員会定例会を閉会します。

10時36分終了

署名 教育長

宮川優子

署名 委員

本多陽子